

教育課程特例校による特別の教育課程の編成の方針等について（英語活動の実施）

1 岡崎市における教育課程特例校指定の沿革

岡崎市では、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる「英語が話せるおかしっこ」の育成を目指し、平成22年度より教育課程特例校の指定を受け、小学校第1学年から第6学年で「英語活動」を実施してきました。

令和元年度以降、学習指導要領の先行実施に伴い、第5、第6学年外国語科の授業時間が週2時間に増えたことを受け、教育課程特例校による特別の教育課程の編成を小学校第1学年から第4学年までに変更しました。

2 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

現在岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（第1学年は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案）

区分	各教科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作DVD『OK English(約8分のDVD)』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。DVDの内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともにDVDを繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親し

【資料2】OK English



んでいます。

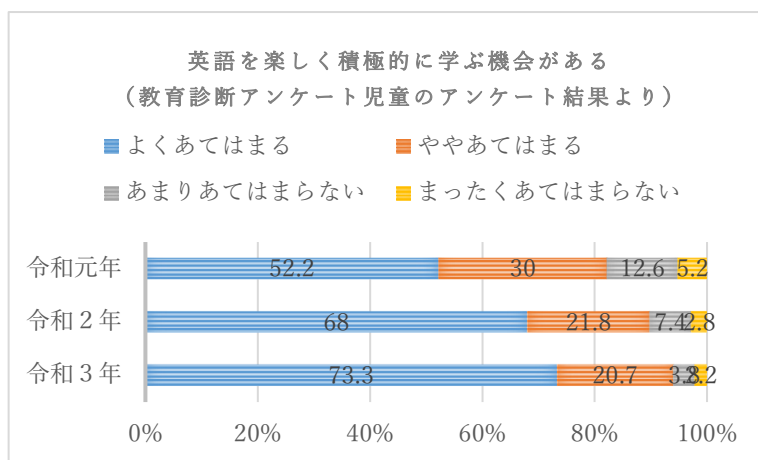
2 本校の取組

三島小学校では、毎日8時15分から10分間を「三島タイム」としています。第1学年から第4学年まで、児童は各学年に応じたDVDを視聴し、聞いたり、発話したりして英語に慣れ親しむことを繰り返します。基本、1週間同じ内容のDVDを視聴します。週の前半は、内容をインプットし、後半はアウトプットできるようにします。教員も児童と一緒に発話したり、ジェスチャーをしたりして取り組んでいます。

3 成果

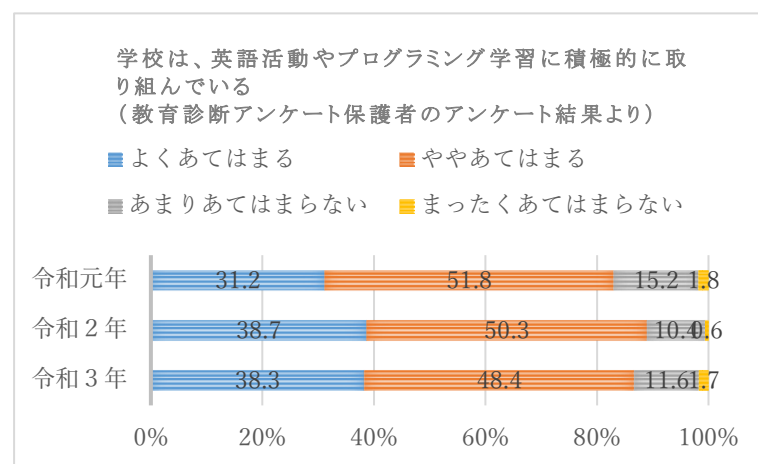
令和3年度末に全校児童にアンケート調査を行ったところ「英語を楽しく積極的に学ぶ機会がある」と94%の児童が回答し、肯定的にとらえていることがわかりました。

この結果を令和元年から令和3年までの3年間で比較すると、年々肯定的に答える児童が増えていることがわかりました。児童たちが「OK English」を楽しみにし、英語への関心度が高まってきているといえます。



4 保護者の声

令和3年度末に行った保護者アンケートでは、86.7%の保護者から「学校は、英語活動やプログラミング学習に積極的に取り組んでいる」と回答を得ることができました。これは、令和元年度(83%)の結果を上回るものの、昨年度(89%)の結果を下回りました。



5 まとめ

児童、保護者を対象に行ったアンケートからは、肯定的な意見が多くありました。岡崎市小学英语研究委員会の自作DVD『OK English』の継続的な視聴により、児童たちは英語に慣れ親しみ、楽しさを知ることにもできていると考えます。そして、このことが5年生から始まる「外国語科」の学習にもスムーズにつながっていると考えます。今後も、「英語が話せるおかざきっ子」を目指し、「聞く」「見る」「話す」といった活動に地道に取り組んでいきたいと考えます。

(文責 教務主任)